

## ステップ1

デコ活をコンポストで家庭から : 「デコ活」とは、

### 「デコ活」とは？

「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称です。

- ・二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む“デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です。  
(環境省)

## ステップ1

デコ活をコンポストで家庭から : 「デコ活」とは、

・日本政府は、2050年カーボンニュートラル  
(二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林・森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにする。)

及び2030年度削減目標(温室効果ガスを2013年度から46%削減する。)の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を後押しするため、新しい国民運動として「デコ活」を展開中です。

## ステップ2

ゴミ削減手段として私たちにできる「コンポスト」について

### 「コンポスト」とは？

コンポストとは、家庭から出る生ゴミ等の有機物を、微生物の働きにより発酵・分解して堆肥を作ることを行います。

コンポストは植物を栽培するのに古くから利用されてきた経験的な知恵ですが、これを技術として体系的にまとめたのが、イギリスの植物学者アルバート・ハーワード卿(1873-1947)で堆肥づくりの方法『インドール式堆肥化法』を確立しました。

日本では1920年に神奈川県内務部より、堆肥の効果や製造方法を紹介した『堆肥のすゝめ』が発行されました。

コンポストは古くからの知恵ですが、その技術的な確立は近代になってできた比較的新しい手法でもあります。

## ステップ2

私たちが推奨するコンポスト

「段ボールコンポスト」: 最も安価で、手軽にできます。



展示: 当会員Ms.Nishikawa  
10年間使用中の現役  
段ボールコンポスト

詳細は、ブースでの「ワークショップ」で、段ボールコンポストを説明。

・段ボールコンポストの作り方

・段ボールコンポストを長く活用するコツと日常の手入れ

「LFCコンポスト」

: 有償の商品ですが、おしゃれでコンパクトなので、マンションの室内やベランダで利用できます。



写真: LFCコンポスト

■ LFCコンポストは、福岡県福岡市に本社を置く「ローカルフードサイクリング株式会社」の商品です。

\* 詳細は、ホームページ ”<https://lfc-compost.jp> “で検索して下さい。

### ステップ3 コンポストを推進している自治体の取り組み事例紹介1

自治体の「段ボールコンポスト」等、ごみ削減取組事例(各自治体ホームページ掲載より抜粋)

- 横浜市:2011年「横浜3R夢プラン」を策定し、生ゴミの減量化について、リデュースを中心にゴミ削減の取り組みを推進中。
- 鎌倉市:コンポスト型やバイオ型など生ゴミの堆肥化に活用できる家庭用生ゴミ処理機の導入を、1世帯につき電動型は1台、非電動型は2台までを助成
- 東京都町田市:2022年、市民から回収ゴミを対象としたバイオガス化施設「町田市バイオエネルギーセンター」を稼働、メタン等可燃性気体を用いて電気を作る。
- 国分寺市:「生ゴミ堆肥化事業」を推進中
- 小金井市:「生ゴミ乾燥堆肥化事業」を推進中
- 西東京市:2014年から「生ゴミ及び生ゴミ一次処理物無料回収事業」を推進中
- 八王子市:2022年から「生ゴミ資源化モデル事業」を推進中
- 立川市 :2011年から「生ゴミ分別・資源化事業」を推進中

### ステップ3 コンポストを推進している自治体の取り組み事例紹介2

自治体の「段ボールコンポスト」等、ごみ削減取組事例(各自治体ホームページ掲載より抜粋)

- 山形県長井市:市営のコンポストセンターを設置し、市内の各家庭から運ばれた生ゴミをコンポストセンターで堆肥化。ゴミ焼却を大幅に削減し、「台所と農業をつなぐ」循環型地域づくりを推進中。同市のゴミ焼却量は1/3に減少。
- 島根県雲南市:市民主体で、市内各所にコンポストを設置し、スマホアプリでポイントを付与する仕組みも導入。

#### <私達の街の状況>

- 埼玉県春日部市  
:生ゴミ処理容器(コンポスト容器式及び機械式)購入世帯に、平成4年度(2022)から購入世帯に補助金を交付している。(但し、予算額に達した時点で終了)

\*補足:平成24年(2012)1月「春日部市循環型社会形成推進地域計画」P6  
3.施策の内容(1)発生抑制・再利用の推進(イ)家庭での生ゴミの堆肥化・利用促進、にある「(前略)今後においては、生ゴミを堆肥化したもので不使用による排出をさけるため、堆肥の利用システムの確立に向け、関係者と協議・研究していくものとする。」

### ステップ3 コンポストを推進している自治体の取り組み事例紹介3

自治体等の「LFCコンポスト」ごみ削減取組事例

- 福岡県福岡市(市ホームページ抜粋)  
:「ゼロカーボンシティに向けた都市型コンポストの開発事業」(ローカルフードサイクリング株式会社)福岡市周辺で排出される有機物廃棄物からコンポスト基材の候補を選定し、可能性の高い3種を用いてモニタリング調査と堆肥成分分解を実施、本事業では福岡発の循環型社会実現に向け、家庭用及び小規模レストラン向けコンポスト基材と回収スキームの開発実証、廃棄物の資源循環を実現。」
- 東京都台東区(区ホームページ抜粋)  
:「区は、株式会社大丸松坂屋百貨店とローカルフードサイクリング株式会社と「循環型ライフスタイルへの転換に向けた取り組みに関する連帯協定」を無杉、コンポスト容器の斡旋・口座の開催や堆肥の回収会を行っています。」

### ステップ3 コンポストを推進している自治体の取り組み事例紹介4

自治体等の「LFCコンポスト」ごみ削減取組事例

- 東京都新宿区(区ホームページ抜粋)  
:「ゴミ減量・コンポストについて:区は、ローカルフードサイクリング株式会社と令和7年12月1日にLFCコンポストの普及による食品ロス削減に関する覚書を締結しました。」
- 東京都港区(株)オレンジページ・ホームページ抜粋  
:「港区区役所に相談したことをきっかけに、「港区コミュニティコンポスト」活動を運営し、都市部マンションでも使いやすい「LFCコンポスト」の企画販売を行うローカルフードサイクリング(株)、港区の新虎通りエリアプラットフォーム協議会と港区役所と共同しながら、脱炭素社会・循環型社会に向け、取り組みを推進中。」
- 神奈川県座間市(市ホームページ抜粋)  
:「市では、さらなるゴミの減量化と地域における食循環の創出を目指して、小田急電鉄株式会社と連携し、「フードサイクルプロジェクト」を実施しています。(中略)LFCコンポストバックの堆肥は、市が配布する麻袋に入れて「市で使う堆肥 LFC」と書いたメモを貼り集積所へ出してください。」